

令和7年8月5日

## 第25回全日本少年少女空手道選手権大会

### 監督会議資料

審判長 江尻 昌広  
副審判長 五十嵐 理 西井 美夏

#### 1、全体の注意点

##### (1) 運営面

- ① 選手が入場し整列した状態で開始式を行う。(最初の競技のみ)  
選手はモニターの前、監督は控え席、審判員は所定の位置。
- ② アリーナ内待機エリアにはスポーツバック1つの持込みを可とする。  
アリーナ内競技エリアにはタオル・ペットボトル・帯を入れる簡易な袋のみ持込み可とする。
- ③ IDカードは、チェックのみとし回収はしない。ただしドクターの記入のあるものは回収し  
コート主任に渡す。コート主任は確認後選手に戻す。
- ④ 道着、帯、ゼッケン、安全具チェックについては、各コートにておこなう。  
特に、上着の長さは大腿部の4分の3まで、ゼッケンの縫い付けを確認する。  
当該試合時にコートで組手2分、形1分ルールが適用となった選手の監督、コーチ、パーソナル  
コーチA・Bはその試合につくことができない。※適用者は待機場所にて待機可
- ⑤ 正副審判長とコート主任は全体連絡を取るために携帯電話等を使用する場合がある。
- ⑥ 監督・コーチ・パーソナルコーチA・Bはアリーナ内での携帯電話の使用を禁止とする。
- ⑥ 競技での「正面に礼」はステージ側を向いて行う。(全小・パラ大会共通事項)  
後列5,6,7,8コートは前列と逆となるが正面はステージ側とする。
- ⑦ 組手2分、形1分ルールが適用されていない選手に対しては、監督・コーチが試合途中から監  
督席に付くことを可とする。 ※試合途中の監督・コーチ同士の交代は不可
- ⑧ ビデオレビュー、プロテストは採用しない。
- ⑨ 形・組手ともに3位決定戦は行わない。 ※パーソナルコーチBの席  
コーチ席の斜め後ろ(応援・声援は控える)  
※競技場内でのケータイ、インカム使用不可。  
写真撮影も不可。

##### (2) 異議申し立てについて

- ① 試合中の場合はすぐにおこなう。
- ② 試合後の場合はコート主任へ申し立てる。
- ③ 次の試合が始まった場合は異議申し立てを受け付けない。

##### (3) 服装

- ① 選手は競技規定に沿った清潔な白の空手着を着用すること。空手着メーカーについては指定  
をしない。
- ② 左胸に都道府県名を入れること。  
空手着の袖や裾が長い場合は内側に折って縫い合わせてあるものは許可する。
- ③ 出場選手は参加賞のワッペンを空手着の左肩口に縫い付けること。
- ④ 監督、コーチ、パーソナルコーチA・Bは黒、紺、グレーのポロシャツ、スラックスを着用とする。  
但し、中学生・高校生のパーソナルコーチについては制服着用を可とする。

※スラックスも黒、紺、グレー

#### 2、形競技

##### (1) 運営面

- ① 選手の出入りについて  
・選手はコートの角(コーナー)に待機し、モニターに自分の名前と形名が表示されたら

ポロシャツは基本的に無地、ワンポイントまで可、バックプリントはダメ。Tシャツもダメ。

コートへ入り（斜め入り）演武を始める。（名前は呼ばれない）演武終了後、礼をしたのち、真っ直ぐに後ろに下がり判定を待つ。判定結果はシステムで確認する。

- ・モニターに表示された形名が申告した形名と異なる場合、選手または監督が挙手をしてその旨を審判員に伝え訂正すること。

モニターに表示された形名と異なる形を演武した場合は違反となる。

- ・コート出入りの礼はしない。

② 礼について。（監督の促し可）演武開始前及び終了後の礼を忘れた場合は違反（反則）となる。

③ 形名を先に言い、その後に礼をした場合は減点となる。※**礼が先**

#### ◇1回戦から準々決勝戦（6回戦）まで（2名同時演武）

- ① フラッグ方式・トーナメント方式で行う。※**審判員は正面に5名並ぶ**
- ② 負けた選手から随時退場する。

#### ◇準決勝戦（1名ずつ演武）

- ① 得点方式で行う。

#### ◇決勝戦（1名ずつ演武）

- ① 得点方式で行う。

#### (2) 形の指定

- ・1回戦から準々決勝戦までは基本形とする。同じ形を繰り返し演武することができる。
- ・準決勝戦は1回戦から準々決勝戦までで使用していない基本形、もしくは第1指定形・第2指定形とする。
- ・決勝戦はそれまでに使用していない基本形・第1指定形・第2指定形とする。

### 3、組手競技

#### (1) 運営面

- ① 競技時間は1分30秒フルタイム 6ポイント差とする。
- ② 競技規定(旧ルールブック黄色本 P68)※12歳未満の禁止事項を適用。
- ③ 負けた選手から随時退場する。
- ④ 試合時の入退場について  
スコアボードに名前が出たら、主審にゼッケンを見せてコート内に入る。名前のコールはなし。  
試合前後は礼をし、選手同士の握手等はしない。
- ⑤ 試合が連続する場合  
コーナーが変わる場合は3分、同じコーナーの場合は1分30秒のインターバルをとる。
- ⑥ 監督、コーチ、パーソナルコーチA・Bは必要以上の指示をしない。2回主審が注意した場合、その試合は退場となる。※退場者は待機場所にて待機可

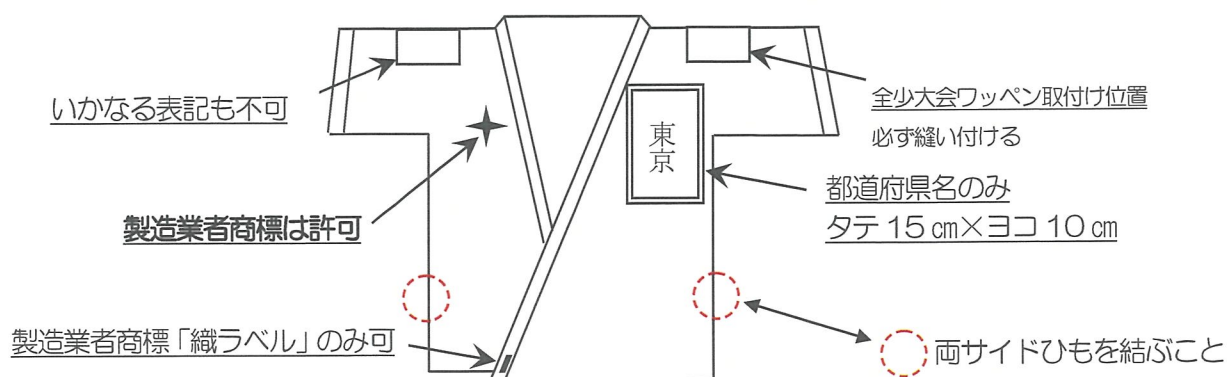
#### 組手安全具

- ① 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、ニューメンホー (No. VII)、ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガード。(新型旧型共に可)  
※ 安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。
- ② 小学3～6年生男子組手出場選手は必ずセーフティカップを着装すること。1、2年生は所属指導者（監督・コーチ）の判断に委ねる。

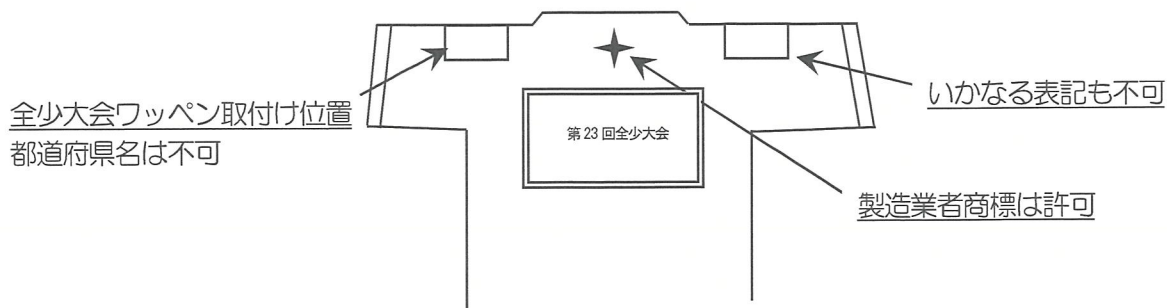
## ワッペン・ゼッケン・胸マークについての注意事項

空手着の製造業者商標のラベルの表記については、製造業者が上衣の裾表側、ズボンの表側（左右どちらか）にはじめから付けられた「織ラベル」は可。今大会で指定された以外のワッペン、刺繍等は一切認めない。※各流派等のオリジナルラベルは認める。

表



裏



【空手着について】 氏名・ゼッケン・都道府県ワッペン・全少参加賞ワッペン・製造業者商標「織ラベル」以外の装飾は不可。ゼッケンはしっかりと縫い付けること。

【帯について】 刺繍可（刺繍糸の色は問わない）

※ 午前と午後の入れ替え制のため、午前の競技終了後、全員が退館する。